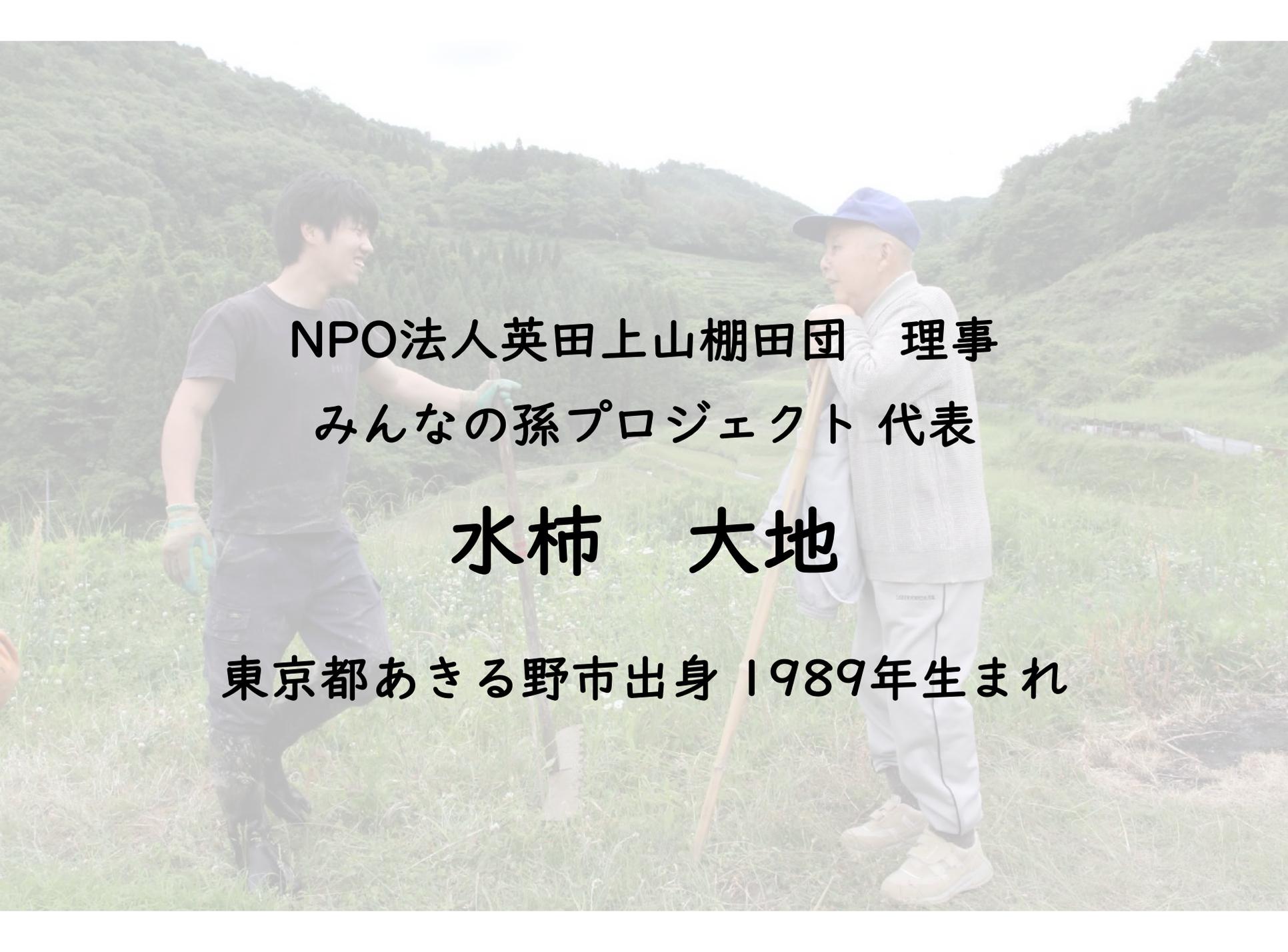




中山間地域フォーラム 2021年度 第1回研究会

現場からの報告
「岡山発・半農半Xのいまとこれから」

NPO法人英田上山棚田団 理事 水柿大地



NPO法人英田上山棚田団 理事

みんなの孫プロジェクト 代表

水柿 大地

東京都あきる野市出身 1989年生まれ



一般社団法人上山集楽
空き家やキャンプ場等 遊休資産の活用



NPO法人英田上山棚田団 理事
棚田の再生及び保全活動
都市住民・企業・大学等との連携



みんなの孫プロジェクト 代表
若者の仕事づくりと高齢者の日常生活支援



NPO法人みんなの集落研究所 執行役
岡山県内の集落や自治体の伴走支援
他、集落の暮らしに関わる調査研究を行う

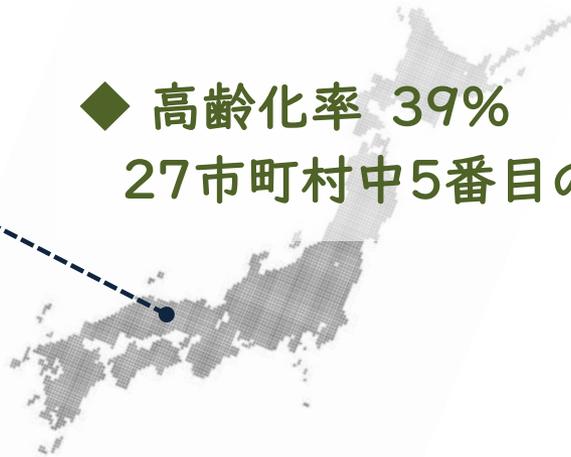
美作市について



◆ 人口 28,277人

◆ 面積 429.2km²
東京都の5分の1
大阪府の4分の1

◆ 高齢化率 39%
27市町村中5番目の高さ



勝田・大原・美作・作東・英田・東粟倉
6町村が合併して、2005年3月31日に誕生!

上山地区について

●岡山県美作市上山地区

●8300枚の棚田

●10の集落で構成

(八伏、薬師堂、空、小山、後迫、坊、中組、金合、大芦、鳥坂)

●人口150人 ◆世帯数65世帯 ◆高齢化率40%
(最盛期は800人~1000人)

上記のうち、2010年からの移住者が23世帯45人



上山の移住者の多くに共通している点は

「棚田での農業」

×

「個人の興味や得意分野、地域資源を活かした事業」

上記のようなワークスタイルをとっている点。



水柿大地



松原徹郎



松原久美



梅谷真慈



玉井友里子



井上寿美



小磯 香



福尾吉剛



白子愛也



三宅康太



赤坂晃靖



蟻正敏雅



岡野 紘子



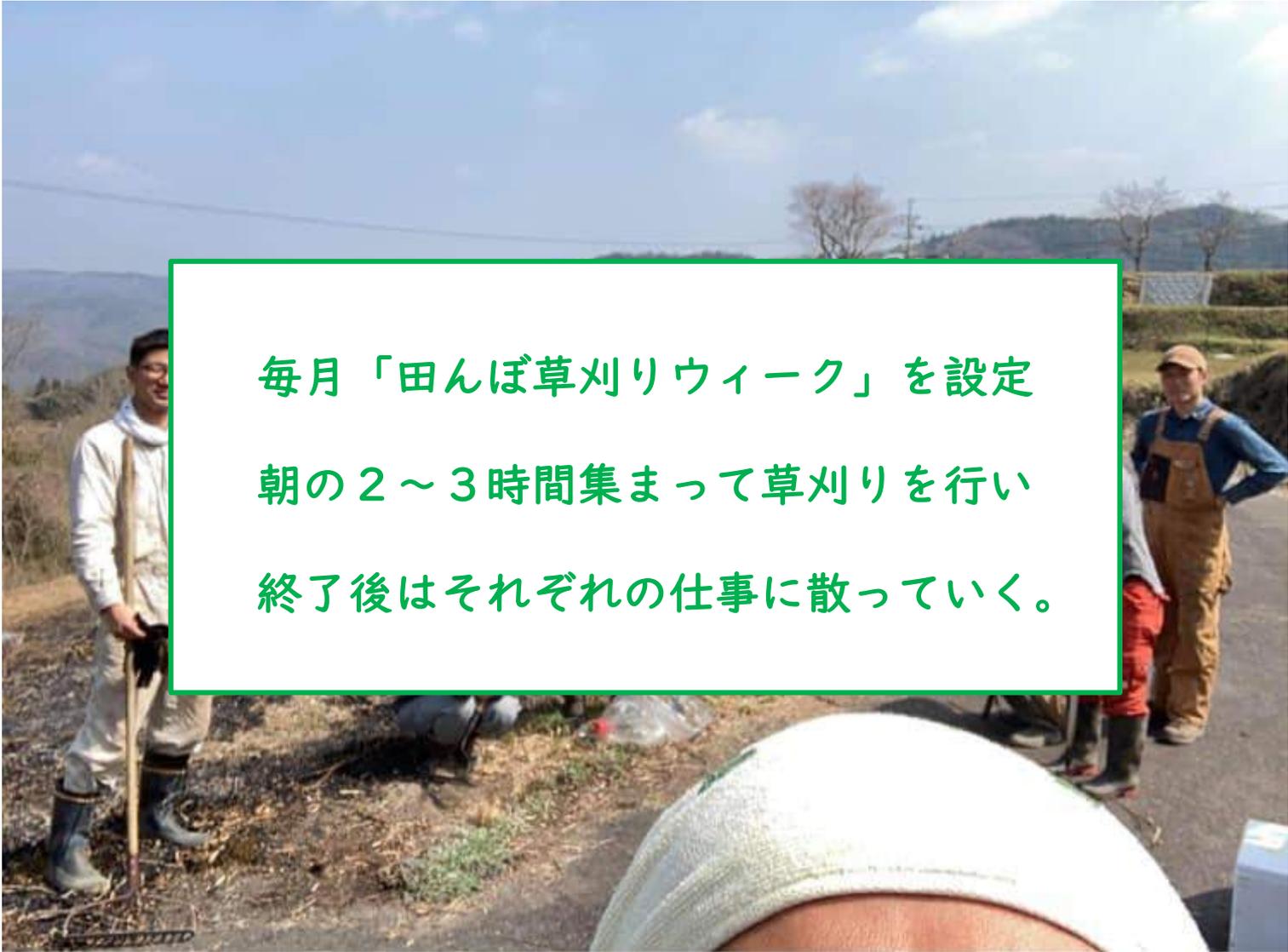
三宅七帆

農地の共同管理・農機具のシェア

大きな初期投資をせずとも移住直後から
すぐに農を暮らしの中に組み込める体制。

地区内の事業主が棚田の維持管理を通じてコミュニティを形成

企業・高校・大学・個人など
(外部からの支援)



毎月「田んぼ草刈りウィーク」を設定
朝の2～3時間集まって草刈りを行い
終了後はそれぞれの仕事に散っていく。

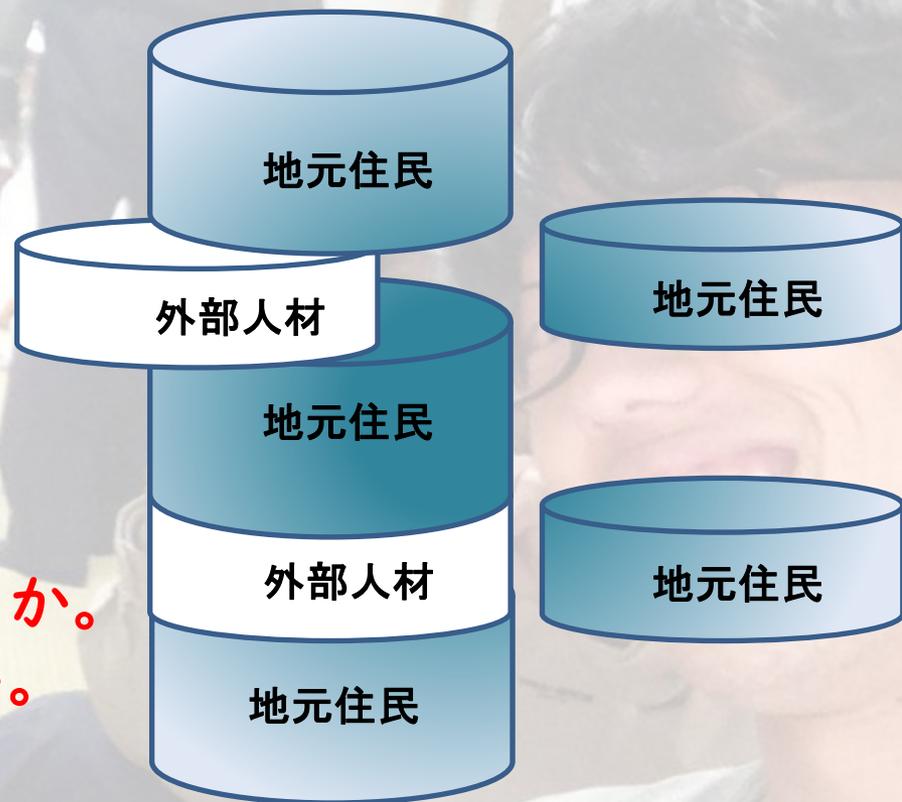
ムラの空洞化によって移住者が入りこむ隙が生まれているが...

移住者等の外部人材

地域の根底にある活動を
疎かにせずに入っていけるか。

受け入れる地域側

ヨソモノと協働する姿勢を持てるか。
→外部への依存度を高めすぎない。



住民間の関係性を繋ぎ、知恵や経験、土地の守り方や
仕組みを引き継げる環境づくりに力を入れている。

農村地域において「農」との兼業が
地域や個人に与える影響

農村で使える共通言語と資産所有者からの信頼の獲得

地域の出合い仕事や祭りなどへの積極参加

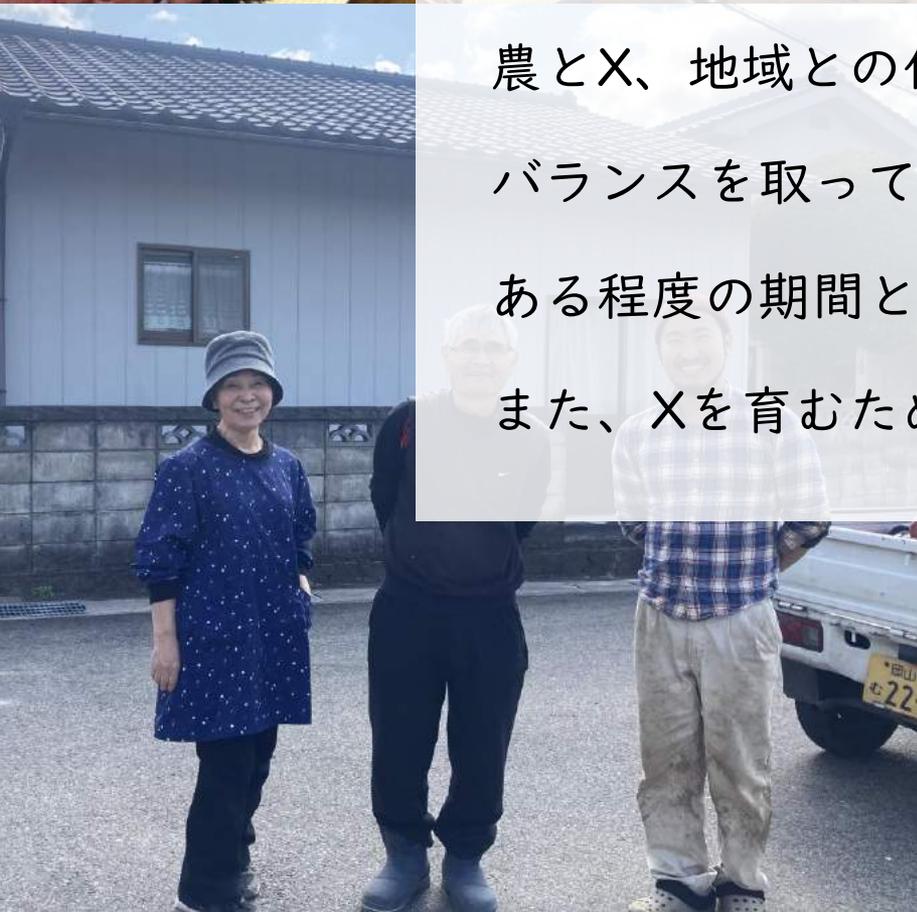


「協力隊制度」 × 「半農半X」の親和性の高さ



農とX、地域との付き合いなど
バランスを取っていくためには
ある程度の期間と経験が必要。

また、Xを育むためにも時間と資金が不可欠。





今後とも「農」を通してコミュニティを形成していき
個人の興味や得意分野を活かした事業にチャレンジしやすい
土壌づくりを行っていきます。

ライス テラス

ライフ テラス

RICE TERRACE

LIFE TERASU

